

第27- (1) 号様式

G K 0 3 0 1

平成 年 月 日	税務署長殿
納税地	(電話番号 - -)
(フリガナ) 名称又は屋号	
(フリガナ) 代表者氏名又は氏名	①
経理担当者氏名	

自 平成 年 月 日	課税期間分の消費税及び地方消費税の()申告書	中略申告 自 平成 年 月 日
至 平成 年 月 日		対象期間 至 平成 年 月 日

この申告書による消費税の税額の計算		付記事項
課税標準額 ①	10 兆 千 百 十 億 千 百 十 万 千 百 十 一 円	割賦基準の適用 ☐ 有 ☐ 無 ☐ 31
消費税額 ②		延払基準の適用 ☐ 有 ☐ 無 ☐ 32
控除適大調整税額 ③		工事進行基準の適用 ☐ 有 ☐ 無 ☐ 33
控除対象仕入税額 ④		現金主義会計の適用 ☐ 有 ☐ 無 ☐ 34
返還等対価に係る税額 ⑤		課税標準額に対する消費税額の計算の特例の適用 ☐ 有 ☐ 無 ☐ 35
貸倒れに係る税額 ⑥		控除税額の計算方法 ☐ 個別対応方式 ☐ 一括比例配分方式 ☐ 41
控除税額小計 (④+⑤+⑥) ⑦		課税標準額 ⑧ 4 % 分 千円
控除不足還付税額 (⑦-④-⑤-⑥) ⑧		旧税率分 3 % 分 千円
差引税額 (⑦+⑧-⑦) ⑨		4 % 分 円
中間納付税額 ⑩		旧税率分 3 % 分 円
納付税額 (⑩-⑩) ⑪		円
中間納付還付税額 (⑩-⑩) ⑫		円
この申告書が修正申告である場合 差引納付税額 ⑬		円
課税売上割合 ⑭		円
課税資産の譲渡等の対価の額 ⑮		円
非課税資産の譲渡等の対価の額 ⑯		円
この申告書による地方消費税の税額の計算		ii (窓口受取りの場合) 郵便局
地方消費税の課税標準となる消費税額 ⑰		iii (貯金記号番号 (郵便貯金記号の場合) -)
差引税額 (⑰) ⑱		※税務署整理欄
還付額 (⑱×25%) ⑲		
納税額 (⑱×25%) ⑳		
中間納付還付税額 ㉑		
納付還付税額 (㉑) ㉒		
中間納付還付還付税額 (㉒-㉒) ㉓		
この申告書が修正申告である場合 差引納付還付税額 ㉔		
課税額 ㉕		
消費税及び地方消費税の合計 (納付又は還付) ㉖		

⑧=(①+②)-(③+④+⑤+⑥)・修正申告の場合⑧=⑧+⑧
 ⑨が還付税額となる場合はマイナス「-」を付してください。

付表2 課税売上割合・控除対象仕入税額等の計算表

一般

課税期間	氏名又は名称
項 目	金 額
課税売上額(税抜き) ①	
免税売上額 ②	
非課税資産の輸出等の金額、海外支店等へ移送した資産の価額 ③	
課税資産の譲渡等の対価の額(①+②+③) ④	※申告書の④欄へ
課税資産の譲渡等の対価の額(④の金額) ⑤	
非課税売上額 ⑥	
資産の譲渡等の対価の額(⑤+⑥) ⑦	※申告書の⑦欄へ
課税売上割合(④/⑦)	[%] ※端数切捨て
課税仕入れに係る支払対価の額(税込み) ⑧	※注2参照
課税仕入れに係る消費税額(⑧×4/105) ⑨	※注3参照
課税貨物に係る消費税額 ⑩	
納税義務の免除を受けない(受ける)こととなった場合における消費税額の調整(加算又は減算)額 ⑪	
課税仕入れ等の税額の合計額(⑨+⑩±⑪) ⑫	
課税売上割合が95%以上の場合(⑫の金額) ⑬	
個別対応方式 ⑭のうち、課税売上によるもの ⑭	
共通して要するもの ⑭のうち、課税売上と非課税売上に共通して要するもの ⑮	
個別対応方式により控除する課税仕入れ等の税額 [⑭+ (⑮×④/⑦)] ⑯	
一括比例配分方式により控除する課税仕入れ等の税額 (⑮×④/⑦) ⑰	
課税売上割合変動時の調整対象固定資産に係る消費税額の調整(加算又は減算)額 ⑱	
調整対象固定資産を課税業務用(非課税業務用)に転用した場合の調整(加算又は減算)額 ⑲	
差引 控除対象仕入税額 [(⑬、⑯又は⑰の金額) ±⑱±⑲] がプラスの時 ㉑	※申告書の④欄へ
控除適大調整税額 [(⑬、⑯又は⑰の金額) ±⑱±⑲] がマイナスの時 ㉒	※申告書の③欄へ
貸倒回収に係る消費税額 ㉓	※申告書の③欄へ

- 注意1 金額の計算においては、1円未満の端数を切り捨てる。
 2 ⑧欄には、値引き、割戻し、割引など仕入対価の返還等の金額がある場合(仕入対価の返還等の金額を仕入金額から直接減額している場合を除く。)には、その金額を控除した後の金額を記入する。
 3 上記2に該当する場合には、⑨欄には次の算式により計算した金額を記入する。

$$\text{課税仕入れに係る消費税額} = \left[\frac{\text{課税仕入れに係る支払対価の額(仕入対価)} \times \frac{4}{105}}{\text{の返還等の金額を控除する前の税込金額}} \right] - \left[\frac{\text{仕入対価の返還等の金額(税込み)} \times \frac{4}{105}}{\text{の金額(税込み)}} \right]$$

 4 ⑯欄と⑰欄のいずれにも記載がある場合は、その合計金額を申告書③欄に記入する。

OCR入力用(この用紙は機械で読み取ります。折ったり汚したりしないでください。)